

令和4年度 学校経営の構想

(1) 学校教育目標 心豊かでたくましい子どもの育成

(2) 経営の信条

□ 教育は人なり

教育の原点は人づくりであることを自覚し、不易と流行を見極めながら自己研鑽と協働に努める。

□ 凡事徹底

当たり前なのが、当たり前継続してできる。

(3) 学校経営の具体

キーワード 明るく (めあてや目標をもつ) ・楽しく (かかわりつながる) ・元気よく (自他の健康と命を守る)		
【確かな学力づくり】 進んで学ぶ子	【豊かな心づくり】 正しく判断し自他を大切にできる子	【健やかな体づくり】 たくましく粘り強い子
① 基礎学力の定着と向上 ・UD化による分かる授業づくり 「焦点化・視覚化・共有化」 ・ICT化による個別、協働学習 「三観小研メディア研究発表」 ・学習規律と学習習慣の確立 「聴き方・話し方・姿勢・返事等」 「学び・教えの名人」の活用 ・個別指導・補充指導 ② 学びの日常化・風土づくり ・大名人(百人一首、インド九九)への挑戦 ・読書活動、表現活動(心の耕し)	① 基本的な生活行動習慣の確立 ・挨拶、廊下歩行、言葉づかい等 ・「谷っ子の約束」の遵守 ・3つの玉を磨く自問清掃 ② なかま・絆づくりの推進 ・自尊感情と自己有用感の向上 ・居心地のよい要場所のある学級 ・全校縦割り活動や異学年交流 ・集会活動の工夫 ③ 教育相談活動の充実 ・全教職員でのチーム支援体制 ・SC・SSW等関係機関との連携	① 運動の日常化 ・「外遊び」と「歩いて登下校」 ・正課体育と行事等との連動 ・谷っ子タイムと放課後練習 ② 健康良習慣の形成 ・メディア依存対策 ・健康な生活リズム 「早寝・早起き・朝ご飯等」 ・食育の推進 ③ 危険予測・回避能力の育成 ・登下校時等の安全教育 ・各種避難訓練と防災教育
【特別支援教育（インクルーシブ教育）の充実】  全ての子どもを包み込む ・組織的で弾力的な支援体制の構築 ・教育的ニーズに即した指導と支援 ・合理的配慮と環境整備 		
【保護者・地域等との連携】 信頼され、開かれた学校づくり	【教職員の育成・働き方改革】 健康で、笑顔で子どもと向き合う	
・学校運営協議会、一ノ谷教育支援会（地域学校協働活動）、PTA組織との連携と協働 ・学校情報の発信（学校・支援会だより、HP） ・学校評価（自己・外部）の積極的活用 ・保幼小中との接続と連携 ・一校一社会貢献活動	・心身の健康保持と風通しのよい職員集団の形成 ・3部会や学年団の活性化によるチーム意識の醸成 ・研修の充実による授業力、指導力の向上 ・専科等による指導体制の工夫 ・業務の適正化、効率化、明確化（時間を生み出す） ・意識改革の推進（時間の管理）	